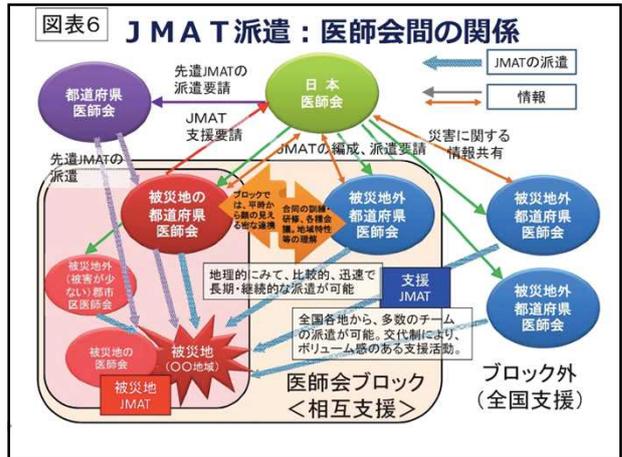


## パネリスト発表

### <パネリスト（発表順）>

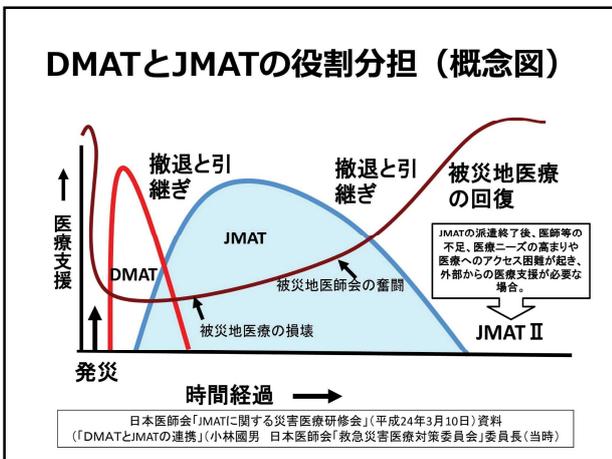
- ① 角田 徹 氏（東京都医師会 副会長）
- ② 大桃 丈知 氏（平成立石病院 副院長）
- ③ 川野 和美 氏（新宿消防団 第5分団 副分団長）



### JMAT：日本医師会災害医療チーム

- “Japan Medical Association Team”
- 日本医師会が、医師のプロフェッショナルオートノミーに基づき、被災地外の都道府県医師会ごとにチームを編成、被災地の医師会からの要請に基づいて派遣を行う。避難所等における医療・健康管理活動を中心として、主に災害急性期以降を担う。
- 東日本大震災一年前、日本医師会の会内委員会より創設が提言。震災直前まで、研修方法を検討していた。
- 派遣終了（2011年7月15日）後も、被災地の状況を鑑み、JMAT II（災害関連死などの未然防止、仮設診療所や被災地の医療機関への医師派遣等）の派遣を継続。

- ### 日本医師会の災害医療活動・・・JMAT
- プロフェッショナルオートノミーに基づく行動**
- ① 避難所・救護所等の被災者への医療、健康管理
  - ② 避難所等の公衆衛生対策：感染症対策、避難者の健康状態、食生活の把握と改善
  - ③ 在宅患者の医療、健康管理
  - ④ 派遣先地域の医療ニーズの把握と評価
  - ⑤ 医療支援が行き届いていない地域（医療支援空白地域）の把握、及び巡回診療等の実施
  - ⑥ 現地の情報の収集・把握、共有
  - ⑦ 被災地の医療関係者間の連絡会の設置支援
  - ⑧ 患者移送
  - ⑨ 再建後の被災地医療機関への引継ぎ



### JMATのチーム編成

**チーム構成例**  
 医師1名、看護職員2名、事務職員1名

↑

**この構成例はあくまでも例。**  
 職種・人数は、現地でのニーズなど、状況に応じて柔軟に対応。

- ・ 歯科医師、薬剤師
- ・ 救急救命士、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、介護・福祉関係者、栄養士等

### 平成28年熊本地震 JMAT派遣

熊本市	熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、宮城県、埼玉県、東京都、神奈川県、石川県、愛知県
阿蘇市	熊本県、東京都、山梨県、鳥取県、岡山県、広島県
南阿蘇村	熊本県、福岡県、東京都、神奈川県、富山県
宇土市	熊本県、鹿児島県
益城町	熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、鹿児島県、宮城県、福島県、東京都、神奈川県、石川県、長野県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、香川県
大津町ほか	熊本県、神奈川県、静岡県、鳥取県

**今回のJMAT活動の特徴**

- 東日本大震災時に比べて“JMAT”の名前が浸透
- 災害前から、九州医師会連合会にて相互支援協定を締結
- 熊本県医師会でも災害前からJMATを編成
- 兵庫県医師会、沖縄県医師会など現地のコーディネーター役を担うケースあり

※他に、医師会が組織した知事チーム(長崎県、北海道、秋田県、茨城県、新潟県、山口県など)、民医連、JRAT、日本小児科学会チームとしてのJMATあり

### JMAT、医療救護班派遣状況

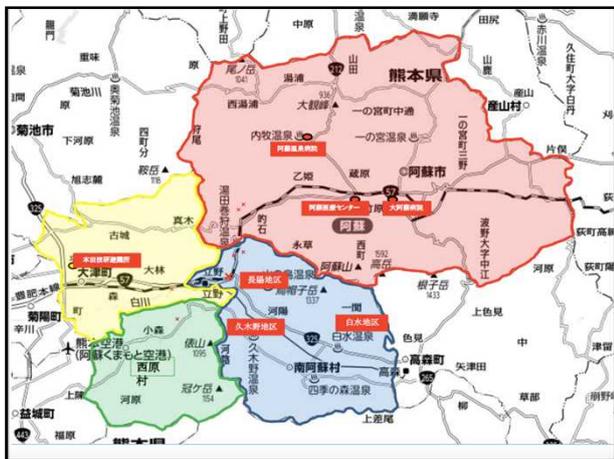
派遣期間	4月												5月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
派遣JMAT	熊本大-熊本大 医師会(熊本)																							
医療救護班	熊本大-熊本大 医師会(熊本)																							

### 東京都医師会JMATの活動

活動期間:平成28年5月1日(前震後17日、本震後15日)~5月31日(前震後47日、本震後45日)  
 活動地域:阿蘇地域(阿蘇市、南阿蘇市)  
 基本活動単位:3泊4日  
 交通手段:空路(羽田-熊本:日本航空)+陸路(熊本空港よりレンタカー)  
 宿泊:現地ホテル(継続契約)  
 指揮命令系統:阿蘇災害復興機構(Aso Disaster Recovery Organization:ADRO)の指揮下  
 活動内容:現場での医療活動ではなく、災害医療から現地地域医療への引き継ぎのためのコーディネート(リエゾン)役、統括役

### 派遣JMAT人員内容

派遣期間	地区医師会名(代表者名)	派遣内訳				計	ロジスティクス(所属)
		医師	看護師	薬剤師	その他職種		
4/18(月)~4/21(木)	帝京大学・横浜国立大学	1	2	1	1	5	
5/1(日)~5/4(水)	多摩市医師会(田村豊)	1	3	1	2	1	8
5/4(水)~5/7(土)	多摩市医師会(丹沢俊弘)	1	2	1	2	2	8
5/7(土)~5/10(火)	三鷹市医師会(角田豊)	1	2				3
5/10(火)~5/13(金)	調布市医師会(幸山紀夫)	1	1	1		1	4
5/13(金)~5/16(月)	北多摩医師会(今井均)	1	1	1	1		4
5/16(月)~5/19(木)	調布市医師会(田中京保子)	1	1	1	2		5
5/19(木)~5/22(日)	三鷹市医師会(高松慶木)	1	1	1		1	4
5/22(日)~5/25(水)	八王子市医師会(加藤信行)	1	1			1	3
5/25(水)~5/28(土)	調布市医師会(青木謙)	1	1	1	1		4
5/28(土)~5/31(火)	足立区医師会(車場謙雄)	1				1	2



### 具体的活動の概況①

5月7日(土)(前震後24日、本震後22日)曇 羽田発10:00 = 熊本空港11:45~12:30(38km)=阿蘇医療センター(ADRO本部)13:45 14:00~14:30 JMAT多摩市チームから申し送り 16:00~17:00スタッフミーティング 18:30~19:30第22回ADRO連絡会議 19:30~20:00コアメンバーミーティング=20:45 ホテル着

5月8日(日)雨 ホテル発7:45(4km)=ADRO本部8:00 8:30~8:45ミーティング=9:50~13:30看護師2名大津町本田技研避難所にて情報収集と活動=14:00神奈川JMATチーム帰着 15:00静岡JMATチーム帰着 15:40 ADRO出発(34km)=16:40南阿蘇村白水庁舎~17:40 SADRO全体会議=18:30~19:30 第23回ADRO連絡会議=20:15ホテル着

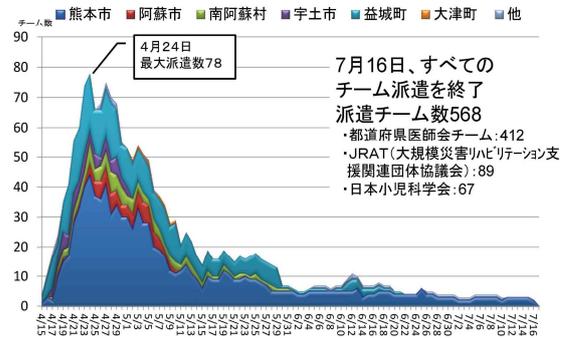
## 具体的活動の概況②



5月9日(月)(前震後26日、本震後24日)雨 ホテル発7:45  
 =ADRO本部8:00 8:30~8:45ミーティング=9:30~13:30看  
 護師2名南阿蘇村にて情報収集=12:00南阿蘇村白水  
 庁舎にて神奈川JMAT引継 18:30~19:00第24回ADRO連  
 絡会議=19:00~20:10阿蘇郡市医師会臨時理事会=  
 20:50ホテル着

5月10日(火)雨 ホテル発7:45=ADRO本部8:00 8:30~40  
 ミーティング=9:00~9:30 看護師2名近隣老健施設(山梨  
 JMAT活動中)へ情報収集=13:30 JMAT調布市チーム到  
 着、申し送り=(30km)=16:00 高森町の医師会長医院に  
 て意見交換16:20 出発=(35km)=熊本空港17:45~20:20  
 =羽田空港22:00

## 平成28年熊本地震 JMAT派遣 (7月26日現在)



## 阿蘇医療センター(ADRO本部)と東京JMAT車



## 平成28年熊本地震 JMAT派遣 (7月26日現在) 参加者数

職種	派遣人数
医師	750
歯科医師	17
看護職員	647
薬剤師	144
事務	318
その他 医療関係職種	680
合計	2556



※数値は延べ人数 (派:派遣中及び派遣終了、準:準備中、視察を含む)

## 阿蘇災害復興機構(Aso Disaster Recovery Organization:ADRO)



## まとめ



- ①東京都医師会JMATチームの派遣期間は、平成28年5月1日から5月31日までの1ヶ月間
- ②派遣人員は、医師11名、看護師15名、薬剤師8名、事務7名、ロジスティック6名、その他職種9名の計56名
- ③求められた活動内容は、現場での医療活動ではなく“コーディネート(リエゾン)”ないしは“統括”役
- ④課題としては、地域の情報把握の難しさ、指揮命令系統の不確かさ、地域医療への引き継ぎ時の問題、などがあつた。